

広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円

昭和53年9月1日

伊万里市役所総務部秘書課発行

No. 295



市内各町を視察して、地域の実態把握や問題点の解決をはかるため、市民の意見を聞き市政に反映させる「青空市長室」が開始されました。(写真は、大川町宿の輪中堤内排水路を視察する青空市長室)

'53

9月

青空市長室スタート

大川町を皮切りに

竹内市長は、地域の実態把握と問題点の解決を図るため、従来の「市民ロビーで市長と会う日」を発展させ、各町を巡回視察する「青空市長室」を計画し、8月18日大川町を皮切りにスタートしました



▲大川町筒江部落で意見を聞く市長

各町に出向き広聴活動

3期目を迎えた竹内市長は、選挙運動期間中に市内をくまなく回って、人々との触れあいの中で、市政に対する意見や地域の実態を目と肌で得た体験を生かし、市民と直結した広報・広聴の組織の強化を図るため、先の人事異動で広報係と市民相談室を秘書課に編入するなどの機構改革を行いました。さらに活発な広聴活動を展開して、円滑な市政を行うために、これま

で実施していた「市民ロビーで市長と会う日」にかわり、市長はじめ、関係担当者が直接に地域へ出向き、実態の把握と問題点の解決を図る「青空市長室」を計画しました。

大川町21箇所を視察

青空市長室は8月18日大川町を皮切りにスタートしましたが当日は市長はじめ、総務・建設産業の各部長と企画・秘書課長市民相談室長などが随行しました。

視察は川西の大黒井堰の補修

工事箇所や立川のボタ山・駒鳴の畜産団地など13部落を回り、現在、市が推進している事業箇所や問題点のある箇所（21箇所）について、住民の意見聴取と実態把握に努めました。

今回の青空市長室は、住民の苦情や要望などの相談事に終わらないで、建設的な意見の聴取の場として市政に反映させることを目的に行われました。

視察箇所

部落	視察箇所及び内容
川原	神谷川拡幅土砂排除
川西	大黒井堰取水施設災害復旧
長野	大溜放水路改修
井手口	井手口川土砂排除
筒江	農道整備・水路改良
東田代	田代防火水槽
山口	大溜漏水防止
〃	井手口～立川市道舗装
宿	宿～井手口市道舗装
〃	老人センター結露防止
〃	保育園0歳児保育状況
〃	輪中堤内排水対策
片竹	花きハウス栽培状況
〃	住宅建設用地
戸石川	戸石川2号線市道舗装
立川	ボタ流出対策、運動広場
駒鳴	畜産団地経営状況
〃	河川カット現場進捗状況
〃	構線市道延長
〃	松浦川河川敷運動広場
相の谷	川西～高瀬市道舗装

たゞ、考えねばならないことは個性は野放しでいかとうと、野放しではやがてエゴに陥る可能性が生じて、エゴでは他の個性を無視することになって、これでは本当の個性の伸長にはならない。

いくら個性のある建築といたっても、建築自身の方式には従わねばならず、また向う三軒両隣りやその地域の間にはおのずから守らねばならないルールがある。

民主主義には上からの規制は必要ではないが、自らの民主主義を尊重する個性がなければ、やがて自分の民主主義も行き詰まる。

これが民主主義には真の個性の確立が必要とされる所以で、私共は自らの個性の主張できる社会と共に他の個性を尊重する豊かな人間社会を形成したい。

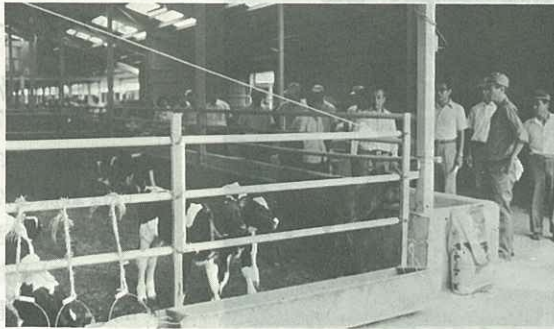
殊に青少年には社会の経験がないので、個性を甘やかされるとエゴに走り、他人の個性など問題にしない事犯を起してしまう。

他の個性に気付き、他の個性と共に行動する中に喜びを感じるグループづくりが真剣に考えられねばならない。

市民も成果を期待

畜産経営にはりきる青年

大川町駒鳴の小崎畜産団地は住宅密集地で畜産経営をしていた方(5戸)が、共同で経営適地に移転拡充をして、経営規模の拡大と合理化や環境衛生の改善を図ろうと、市の指導を受け52年度から畜産団地づくりを進めてきたもので現在は350頭



▲駒鳴の小崎畜産団地

(計画=500頭)の牛が飼育されています。

畜産経営5戸の代表者は平均

年齢25.4才の若い後継者で、畜産経営に若さと情熱を燃やしており、その中の一人、田口敬一

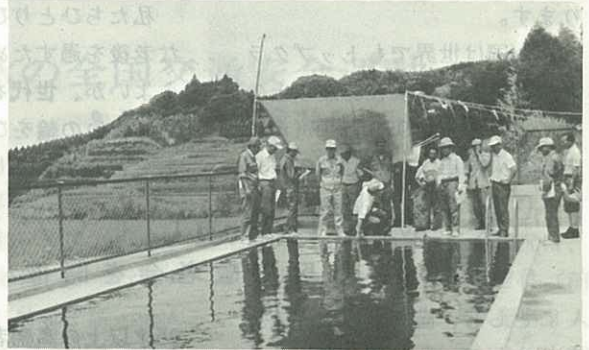
郎さん(22才)は最近まで会社勤めをしていた「脱サラ」の方で『大変な仕事ですが、それだ

プールをありがとう

喜ぶ東田代の子供たち

青空市長室は東田代に設置された防火水槽(プール兼用)を視察しましたが、東田代の湖上さんは『過去2回の大火に見舞われた苦い経験もあり、子供達のプール実現の夢もかなった』と区民を代表して感謝の意を表され、東田代の子供クラブ代表井手直美さん(12才)から『市長さんをはじめ、消防関係者、部落の方々のお力ぞえによって

こんなにすばらしいプールで泳ぐことができ、私たちはたいへん喜んでます。このプールに負けないよう精一杯練習し体力づくりにそして勉学に励んでいきたいと思っています。ほんとうにみなさんすばらしいプールをありが



▲東田代に完備した防火水槽(プール兼用)

けにやりがいのある仕事です。現在、79頭を飼育しているが、一日も早く100頭持ちたいと頑張っています。しかし、本当の経営はこれからで、機具の整備や浄化槽の設置・水の確保などたくさん問題をかかえています』と厳しい表情で話していました。

また「青空市長室」について『私たちが直接に市役所へ出向き、市長さんと話しをすることはできにくいですが、今回の様に来てもらって、実情を見てもらうとファイトがわき、意見やお願いもしやすい。市長さんも忙しいでしょうが、これからも青空市長室を続けてもらいたい。そして成果を期待しています』と語っていました。

とうございました』とお礼の言葉がのべられました。

市内の立花団地や脇田地の大型団地に行くとき、まるで住宅の展示会の如く、一戸一戸形の違う、それこそ百様百態の家があって、家を建てる前には、一度団地を見ておくと非常に参考になるように思われる。

このことは今の農家を見ても同様で、昔は農家の造りと言えば同じ型のものが多く、玄関を開ければ広い庭が、奥の座敷があり、その横が納戸、手前が茶の間になっていて、空果ねらいの告白によれば昔は下見など全然いらぬ、お金のあり場所まで一致していたが、最近はこの家も間取りが違っていて、仕事も業じゃないと言っている。これはお互いの観念の上で、個性の上で、個性が自由なものがとれて、個性が自由であるように思われる。



老後に生きるよろこびを



9月15日は敬老の日

心のプレゼント

お年寄りに便りを

年老いたご両親へ、あるいはお孫さんからおじいさん、おばあさんへ、お知り合いのひとり暮らしのお年寄りなどにも、心のこもった敬老の便りを出しましょう。

一通の便りにこめられたやさしい心は、お年寄りへのすばらしいプレゼントとなるでしょう。

▲すし組合が向陽園を慰問 (S 52. 11)

老人福祉週間

みんなで築こう豊かな老後 私たち自身の老人問題

9月15日は「敬老の日」です。この日から老人福祉週間が始まります。

わが国は世界でもトップクラスの長寿国で、現在65歳以上のお年寄りの方は979万人（市は7,439人で市人口の12.2%＝7

月31日現在調）おられます。

そして、22年後の昭和75年には、1,900万人を超えると推定されています。

つまり「老人問題」は、私たち自身の問題なのです。

私たちひとりひとりが、豊かな老後を過ごすためにはどうしたらよいか、世代を超えた連帯と話し合いの輪をひろげる必要があるといえるでしょう。

楽しい1日を過してください。

各地区で敬老会を開催

ことしも、満75歳以上の方をお招きして、9月10日から9月15日にかけて、敬老会が老人センターなど市内13か所で開かれます。

現在、75歳以上の方は2,778人（男1,034人・女1,744人）で、そのうち、88歳以上の方は156人おられます。

みなさんの長寿を祝い、これからも、ますます健康で長生きされますことを願うものです。

敬称略
(年令順)

95才以上の高齢者

- 草野ツナ 101歳 東山代町脇野
- 古賀ミス 96歳 栄町
- 武藤藤四郎 95歳 立花町東円
- 松尾カン 95歳 山代町久原
- 山口チエ 95歳 二里町大里
- 高田シノ 95歳 波多津町井野尾
- 小柳藤太郎 95歳 山代町久原
- 山本シナ 95歳 山代町立岩
- 松尾勢一郎 95歳 松浦町東分
- 前田榮吉 95歳 二里町西八谷

市内の最高齢者は 草野ツナさん(101歳)

ことし敬老会にお招きする75歳以上のお年寄り2,778人の中で、95歳以上の高齢者の方は10人おられます。

また、市内の最高齢者は、女性では東山代町脇野の草野ツナさん（101歳）で、男性では立花町東円蔵寺の武藤藤四郎さん（95歳）です。



元気な笑顔みせるツナさん
(8/17 撮影)

あなたと 考える いつなくなる飲酒運転

前年より3割近くも増える

みんなで撲滅に立ち上がろう

これから、秋の行楽シーズンをむかえ、外出する機会が多くなりますが、それにともなって交通事故も多発する心配が出てきます。

その中でも、重大な交通事故に直結する飲酒運転は相変わらず多く、酒酔い・酒気帯び運転で検挙されたものが、7月末で、170人（伊万里警察署調）もいます。

これは前年の同じ時期に比べ27.8%も増えています。

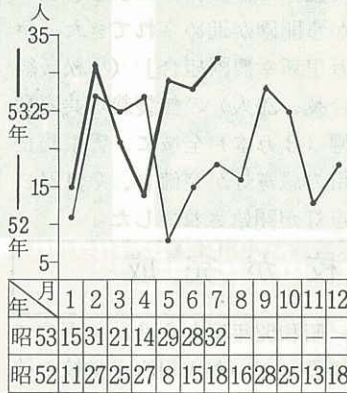
飲酒運転を追放するためには「飲酒運転3ない運動」▷車を運転する人は酒を飲まない。▷車の運転をする人には酒を飲ませない。▷酒を飲んだ人には車を運転させない—を守ることが大切です。

ひとりひとりが自覚して飲酒

運転の防止につとめないと撲滅はできません。

今こそ、市民みんなで交通事故“0”への願いを込めて、立ち上がりましょう。

月別飲酒運転検挙者（伊万里警察署調）



町別飲酒運転検挙者数 (昭53.7.31現在 伊万里警察署調)

町名	1~6月	7月	計
伊万里	45 ^人	8 ^人	53 ^人
黒川	6	1	7
波多津	5	1	6
南波多	5	2	7
大川	6	3	9
松浦	3	3	6
二里	6	2	8
東山代	9	2	11
山代	5	1	6
(市外)	48	9	57
計	138	32	170

秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

ことしも、「秋の全国交通安全運動」が9月21日から9月30日までの10日間、実施されます。今回の運動では、▷歩行者・自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止 ▷飲酒・暴走運転の追放 ▷安全運転管理の充実と安全運転の促進を重点に行われます。

交通事故による犠牲者を出さないよう、みんなで正しい交通ルールを身につけましょう。

飲んだら乗るな
飲むなら乗るな

交通戦争の被害者は 子供とお年寄り

市内の交通事故発生状況は、7月末現在、▷発生152件（前年同期比6件増）▷死者3人（1人減）▷傷者188人（20人減）です。

死者・負傷者は、いくらか減少していますが、発生件数は増えています。

事故の主な特徴は、老人や子供などが多く、昭和52年の交通統計では実に64%にも達しています。

交通戦争の被害者は、まさに子供とお年寄りといえます。



市民病院起工式

来年7月完成めざす

市民病院全面改築の起工式が、8月22日市長はじめ市の担当者と工事関係者らの出席により行われました。

新病院は4階（1部5階）建てで、最新の医療施設を備えた建物が、来年7月には完成の予定です。



▲市民病院起工式

九州一の共同梨園完成

松浦町「伊万里新幸農園」

松浦町山形に九州一を誇る大型の梨団地（37ha）が完成しました。

農業近代化施設整備事業（事

業主体＝市農協）により、48年から開園が進められてきた「伊万里新幸農園組合」（小松敬組合長、29人）の無袋栽培共同梨園（3万本）全域に、害虫防止用の忌避灯が完備し、7月24日点灯が開始されました。

大川内小学校が完成

2学期から新校舎で



▲完成した大川内小学校

昭和52年度から2か年事業で建設していた大川内小学校の校舎が落成し、2学期からは新校舎で授業が行われます。

建設に要した経費は、用地造成費を含め2億4,030万円で、郵政省簡易生命保険積立金などの融資により建設されました。

市民大学講座 受講者募集

市中央公民館では「豊かで人間性のある社会の創造」をテーマに、市民大学講座を開設します。

▷日時（前期）10月2日～4日
（後期）11月14日～16日

午後6時30分～8時30分

▷場所 中央公民館

▷申込期日 9月15日

※受講希望の方は中央公民館電話又はハガキで申し込みくだ

さい。（松島町☎2-7108）へ

市民大学講座プログラム

期日	学習内容	附記
10月2日 (月)	伊万里市の将来の展望	伊万里市長 竹内通教
10月3日 (火)	青少年と大人のかかわり	佐賀県社会教育課長 中村吉紀
10月4日 (水)	健康管理と体力づくり	佐賀県体育保健課 江頭友和
11月14日 (火)	時事問題	西日本新聞佐賀総局長 清水正信
11月15日 (水)	伊万里の歴史を学ぶ	伊万里市文化財保護審議委員会 原口静男
11月16日 (木)	これからの教育の課題	佐賀大学教育学部長 松崎朔江

市職員人事異動

◎7月31日付

- ▷退職＝山浦孫行（総務部総務課付）▷米沢恵美子（市民部）▷前田勇一（産業部）

◎8月17日付

- ▷退職＝前田美智子（市民部）▷市民部＝井上富栄（市民病院）

◎8月31日付

- ▷退職＝松尾竹四（総務部総務課付）▷飯田文次（総務部総務課付）

“フルーツと焼物の里”へ
どうぞ

宣伝隊各地へくり出す

「フルーツと焼き物の里」をキャッチフレーズに観光面に力を注いでいる市は、観光農村として飛躍する南波多町の農協と協力して、フルーツ娘を中心とした宣伝隊を県内外に繰り出しました。

宣伝隊は8月8日市役所から3班に分かれ、県内・福岡・長崎へ試食のブドウ・ナシやPR用のポスターを配りながら、「フルーツと焼き物の里へどうぞ」とPRに努めました。



▲博多駅前PR中の宣伝隊

国見台球技場は

つかえませんが9/1～10/31

国見台球技場はナイター施設工事のため9月1日から10月31日までのあいだ使用できません



◀光の祭典にうっとり

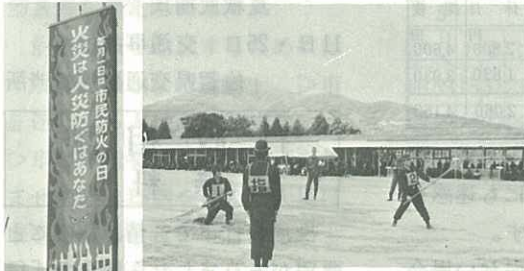
夏の夜の納涼を誘う「第10回市民納涼花火大会」が10日夜、伊万里川河畔で行なわれました。夜空を彩る打上げ花火や川面に映える仕掛花火は集まった約2万人の観衆を魅了しました。

いま伊万里で



▲大川小に相撲場が完成 P T A や大川町相撲協会のみなさんの奉仕で、りっぱな相撲場が完成し、8月3日に土俵開きが、行われました。

◀防火を呼びかける大看板とポンプの技を競う消防団員
高さ5mの大看板は消防署員の手で作られた力作です8月20日は消防本部訓練場でポンプの操法大会が行われ、すばい動作に観衆から拍手が送られました。



▲波多津町木場に製茶加工場が完成 茶業経営の近代化を目指した製茶工場が、8月8日落成しました。

◀早起き野球の表彰式

市民早起き野球が8月10日、男爵チームの優勝により終了しました。早朝ソフトは六仙寺チーム、ママさんナイターバレーは大坪チームが、それぞれ優勝しました。



◇◇国民健康保険◇◇

老人診療費7億4千万円

52年度国保医療総額の4割

現在市内では、国民健康保険（国保）に8,217世帯・24,619人の方が加入しています。

思わぬケガや病気で治療を受ける医療費は年々増え続け、保険税もまた増えています。

国保の医療費の負担割合は、診療を受ける方が3割、残りの7割は皆さんが納めた保険税と国の負担金や交付税などでまかっています。普通診療を受ける場合、自己負担は3割ですが70歳以上の老人の方（黄色の㊦保険証書を持っている方）になると、自己負担分の3割が老人医療費として支払われるため実質的には本人の診療費が無料になります。

52年度中の国保診療費総額は18億6,400万円と巨額です。

このうち、老人の方（㊦）の

9月の市民会館行事

7日～9日（木～土）

8時30分～17時

・老人趣味の作品展（市老人クラブ）

8日（金）8時30分～17時

・伊万里市老人福祉大会

（市福祉事務所）

10日（日）9時～17時

・原付自転車免許講習

12日（火）10時～17時

・九州スミセ工場竣工披露

14日（木）13時～16時

・第29回全国労働衛生週間説明会（伊万里労働基準監督署）

医療費は、約4割に当たる7億4,000万円にものぼっています。体のぐあいが悪かったりしたら誰でも医師の診察を受けますが、“診療費がタダだから”という安易な考えはすてたいものです。

国保の健全な運営を図るためお互いが保健税を出し合っています。みんなの力でみんなの国保を守りましょう。

——時間外診療や休日はい診療費が高くなります——

	時間内	時間外	休 日	深 夜
	円	円	円	円
初 診 料	1,000	1,600	2,800	4,600
再 診 料	330	830	1,830	3,930
内科再診料	560	1,060	2,060	4,160

時間外に受診すると上表の通り割高になり、医師にも迷惑をかけることとなります。

急病など、やむを得ない場合以外は時間内に受診しましょう

——同じ病気やケガの時は

同じ病・医院で治療を——

同じ病気やケガでただ思わしくないからといって病院を転々と変わる方がいます。病気によっては一定期間の経過が必要な場合もあります。疑問があればすぐ医師に相談してください。

また、国保への加入や転出・療養費・高額医療費・助産費などについてのお問い合わせは気軽に市民課国保係へどうぞ。

（㊦③ 2111内線 222）

毎月1日は市民防火の日

市の人口

（8月1日現在）

総人口	60,872人
男	28,824人
女	32,048人
前月比	+50人
世帯数	16,195世帯

広 報 こ よ み

市民相談室では各種の相談業務を行っています。いずれも無料です。気軽にお出かけください。

・毎週金曜日 社会保険相談
担当 唐津社会保険事務所員
21日 法律相談（第3木曜日）

夏秋武樹氏

11日・25日 交通事故相談

佐賀県交通事故相談所

行 政 相 談
無 料

役所の仕事で苦情、悩みごと要望がありましたら地元の「行政相談委員」へお尋ねください
△相談委員

・岩本判三氏 東山代町大久保
・井手敏男氏 新天町

たばこは市内で
買いましょう。

20本入りのたばこ1箱を市内で買うと24円60銭が「たばこ消費税」として市の収入になり、学校や道路など環境整備のために役立てられます。昭和52年度は1億6,880万円の収入がありました。

◎市外へお出かけのときは市内で買って出かけましょう。

住宅統計調査にご協力を

10月1日現在で約5,200世帯を調査

総理府統計局は、10月1日現在で全国一斉に「住宅統計調査」を行います。

この調査は、5年ごとに実施されている住宅の国勢調査ともいうべき大規模なものですが、すべての住宅について調査することが困難なため、全国から約500万世帯を抽出して調査が行われます。

当市で対象となるのは、93調査区、約5,200世帯で、9月中

に調査対象世帯へ係員が伺い調査書の配布・記入の方法などを説明します。

調査の内容は、住宅の構造や広さ・設備・持ち家・借家の別建設の時期などで、全国の住宅の実情を地域別に明らかにし、国や都道府県などが立案・実施する住宅建設計画・都市計画・地域開発・環境整備計画などの基礎資料として使われます。皆さんのご協力をお願いします

緑化教室

9月20日 市役所で

▲参加 市民の方ならだれでも参加できます。(受講無料)

▲日時と場所

・9月20日(水) 10時~12時

・市役所4階大会議室

▲プログラム

「庭木の植付けと手入れ」



胃ガン集団検診

▲対象者 40歳以上の方(胃の治療を受けている方、妊婦を除きます)

▲料金 250円

▲日時と場所

・9月11日(月)伊万里小・牧島小学校区 市中央公民館

・9月27日(水)大坪小学校区 柳井町公民館

・9月28日(木)大川内町 平尾公民館

午前8時50分~9時30分受付

※受診される方は前日の午後10時以降、水など口にしないでください。

子宮ガン集団検診

▲対象者 木須町・脇田町、30歳以上の方(妊婦を除きます)

▲料金 250円

▲日時と場所

9月18日(月)中央公民館

午後1時~1時30分受付

健康と豊かな心で町づくり

三種混合予防接種

百日せき・ジフテリア・破傷風

三種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風)の予防接種を実施しています。

▲対象者

生後24か月~48か月の幼児

▲接種方法

・1期(生後24か月~36か月まで)3~8週間の間隔で3回接種

・2期(生後48か月まで)1期終了後1年以上~1年半以内に1回追加接種

▲日時と場所

・毎月第2・第3金曜日

・午後1時30分~2時30分

(ただし9月は8日と14日)

・市役所4階大会議室

※母子手帳をご持参ください。

詳しくは市環境衛生課保健予防係(☎③ 2111内線 281, 286)

ツベルクリン反応・BCG予防接種

▲対象者 昭和49年9月1日から昭和50年8月31日までに生まれた方(現在までに受けられた方は必要ありません)

▲日時と場所

・伊万里町 牧島町 二里町

ツ反 9月11日(月)

BCG 9月13日(水)

・大坪町 大川内町 松浦町

ツ反 9月20日(水)

BCG 9月22日(金)

・今回検査及び接種を都合で受けることができなかった方

ツ反 9月27日(水)

BCG 9月29日(金)

◎午後1時30分~2時30分

◎市役所4階大会議室

※ツベルクリン注射をしないうとBCG予防接種は受けられません。

労働保険（雇用保険(旧失業保険)の 労災保険）の 加入手続きはお早めに

労働者を1人以上雇用している事業主は、失業者の生活安定と雇用促進などを目的とした、雇用保険や万一の労働災害にそなえるための労災保険に必ず加入しなければなりません。（ただし、農林水産業で労働者が5

人未満の事業所は、当分のあいだ任意加入です）

まだ手続きがすんでいないところは、すぐに加入手続きをしてください。

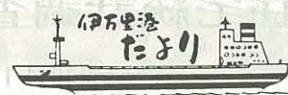
お問い合わせは伊万里公共職業安定所 ☎③2131へ

引き揚げ時の税関寄託品をお返しします。

終戦後、外地から引き揚げてこられた方が上陸地の税関（又は海運局）に預けられた通貨、証券などは、上陸地を所轄している税関が保管しています。これらのものは、今までに返還が実施されてきましたが、まだ多くのものが返還されないままに

なっています。引揚時に通貨、証券を寄託された方で、まだ引き取りの済んでいない方は、できるだけ早く返還手続きをしてください。

返還の申し出は本人だけでなく、家族の方でも結構です。心あたりの方は門司税関監視部



7月

貿易額は輸入だけで、6億100万円、前月比22億5,600万円の減

輸入

原木5億9,700万と船舶用品400万。原木の内訳は南洋材5億1,100万円、米材8,600万円。

船舶の入港

日本船2隻、外国船12隻（パナマ10、リベリア2）の計14隻で前月比4隻の減

〒801北九州市門司区西海岸1-3-10 ☎093-321-3031内線277）にお問い合わせ下さい。

同和教育研修講座に参加して

～その3～

みずからの変革を めざして

大川町 馬場崎実造

今回の受講者の中に「この講座に出席してほんとうによかった。これから結婚問題や就職問題にも、積極的な気持ちで取り組むようにしてゆきたい」というような人がありましたが、このような人が次々と輪を広げていったら同和教育の道も明るく開けていくと思います。

基本的人権の尊重は、日本国憲法の大きな柱になっていますが、これは民主主義確立の基礎的な問題で、この精神を基調にして小学校から計画的に、段階的に同和教育が実施されています。

しかし、これに対して私たち

大人が「ねた子を起こすな」、「もう差別はない。差別は自然になくなる」などの考えで、偏見や予断を持ち続けていることは「ねた子を正しく起こしていく」学校の教育に逆行するものだと思います。

被差別部落では、解放学級に力を注ぎ、みずからの人間変革に努力されていますが、このことはとても喜ばしいことです。今日まで職業選択の自由を奪われ、その日稼ぎの苦しい生活であっても、特別措置法に甘えることなく、解放への意欲に燃えて、みずから立ちあがっておられる部落の人の姿を見て、国民的課題として私たちひとりひとりの積極的な取り組みを願わずにはおられません。

同和教育担当者の方が、一般住民の意識や、同和教育の問題点などくわしく調査研究されていることに敬意を表しますが、同和教育を知識としては、わかっていながら、なおかつ被差別部落の人に対する「ねたみ差別」の考え方や「さわらぬ神にたたりなし」といった、敬遠主義をとる人が多いといわれるのはどうしたことでしょうか。

私は、被差別部落とは近隣の地区に生まれ育って長い年月の間、部落の人のきびしい差別の現実を知り、幼少の頃から知らず、知らずのうちに培われたであろう差別と偏見をもってきた一人として、まず、自分自身が差別をしない、差別を許さない人間として変革し、これからの同和教育推進のために微力をつくしたいと決意を新たにしています。

明るい選挙標語募集中 9月30日まで

佐賀県選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会では、来春予定されている統一地方選挙に皆さんの関心を持っていただくため標語を募集します。

〔応募方法〕

○自作・未発表のものを、官制

はがき1枚につき1句書く。

(1人につき3枚まで)

- はがきには住所・氏名・年齢性別・職業・電話番号を書く
- 標語には「公明」の文字を使用しないこと。
- 入選した作品は主催者に属す

るものとし、返却しない。

〔送り先〕

佐賀県選挙管理委員会(佐賀市内1丁目1-59 県庁地方課内)

〔締め切り〕

昭和53年9月30日(当日消印有効)

※発表は10月下旬になります。

- 次の方からご寄付をいただきます。厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- 社会福祉事業費へ**
- ◆ 香典返しを寄付
 - 福田雅博(山代町浦の崎 亡祖母ツヤ)
 - 吉永光男(二里町吉野 亡母リツ)
 - 山浦静馬(山代町峰 亡母イエ)
 - 宮地庄之助(山代町久原 三区 亡弟浦郷要助)
 - 嶋田泰輔(松浦町下分 亡父九一)
 - 中島悟一(大川町井手口 亡母ミツヨ)
 - 川崎信雄(松浦町中通 亡父輝二)
 - 高木正(山代町福川内 亡母セツ)
 - 前田秀雄(二里町西八谷 棚 亡父伊三)
 - 黒川金男(黒川町小黒川 亡父伊平治)
 - 野中勇(大川町駒鳴 亡父喜代治)
 - 西山テル子(山代町久原 一区 亡夫光義)
 - 藤川儀作(東山代町長浜 亡妻チカ)
 - 西ノブ(東山代町大久保 亡夫勝比古)
 - 吉田政雄(黒川町奥野)



ありがとうございます

- ◆ 篤志寄付
 - 四千円 牧野敏昭(東京都 伊万里警察署経由)
 - 五千円 山口茂樹(松浦町下分・経営改革協力金の一部を)
 - 宮地庄之助(山代町久原 亡弟浦郷要助の香典返しを身障者協会へ指定)
- (累計)三二万八、八七六円)
- 教育振興奨励基金へ

- ◆ 香典返しを寄付
 - 西ノブ(東山代町大久保 亡夫貞雄)
 - 田中静男(波多津町煤屋 亡母マツ)
 - 古川クマヨ(波多津町浦 亡夫富藏)
 - 城島静子(新天町 亡夫春吉)
 - 福田幸助(二里町川東 亡母カメ)
 - 田中静男(波多津町煤屋 亡母マツ 波多津小指定)
 - (累計)二五万五、〇八一円)
- 体育振興奨励基金へ
- ◆ 香典返しを寄付
 - 中島悟一(大川町井手口 亡母ミツヨ)

- ◆ 香典返しを寄付
 - 八木シメ(二里町川東 亡夫貞雄)
 - 前田秀雄(二里町西八谷 棚 亡父伊三)
 - ◆ 篤志寄付
 - 壱万五千元 丸田辰雄(二里町大里)
- 東山代公民館 施設整備資金へ
- ◆ 香典返しを寄付
 - 宇曾ヒサ子(東山代町里 亡夫一彦)
- 山代町コミュニティ センターへ
- ◆ 香典返しを寄付
 - 原久雄(山代町城 亡母トミ)
- 大川町づくり 推進資金へ
- ◆ 香典返しを寄付
 - 松本義雄(大川町井手口 亡母ケイ)
- 南波多公民館へ
- ◆ 香典返しを寄付
 - 加茂川芳徳(南波多町水留 亡妻ミツノ)
 - 古賀キクヨ(南波多町原屋敷 亡夫定見)
- 波多津公民館振興資金へ
- ◆ 香典返しを寄付
 - 田中静男(波多津町煤屋 亡母マツ)
- (昭53・8・17現在)

こどものページ

きょうと きず
郷土を築く青少年のつどい

少年の郷土教室

郷土を築く青少年のつどい・「少年の郷土教室」が、市教育委員会の主催により、8月3日から5日までの2泊3日、滝野小・中学校で開かれました。

明日の郷土の担い手の少年た

ち、市内各町から選ばれた中学生80人が、自然に親しみながら郷土への理解と愛着心を深め、明るく住みよい郷土づくりについで知識を、キャンプによる郷土教室で学びました。



▲「山ン寺」の遺跡を見学する参加者

少年の郷土教室に
参加して

国見中学校二年 大宅悦子

この教室に参加して、いろいろなことが、私のためになつたと思います。古く、その古い跡がどうして今までくずれもせず、広大な

それは、まず他の学校の見られ、たいへん不思議に思われられたことです。野炊や班行動をとる時など、班の人と協力

をとり、野炊や班行動をとる時など、班の人と協力しないといえぬ、三日間の内

いままでの私の行動は、大変自分かたがわり反省しました

また、市長さんのお話の中にあつた「発想の転換」という言葉が心に残りました。

佐賀県・日本の西端にある伊万里と考えると、世界の中心

伊万里と考えると、世界の中心伊万里と考えると、世界の中心

二日目は、山ン寺まで行き

が半分半分です。